

大人の学びなおし第6クール 第3回「経済」レポート

日本経済これまでの30年と今後の展望

慶應義塾大学 教授 小林 慶一郎 氏



冒頭に先生から、日本経済これまでの30年について、大きな流れについてお話がありました。1990年～不良債権処理の遅れ、に始まり、その後遺症として非正規雇用増大による人的資本の劣化から格差拡大、さらに長期低金利が招いたと言われる財政悪化と停滞・・・

各論は省きますが、日本の財政悪化を引き起こした経緯と、多少景気を刺激しても上向くことのない悪循環の真っ只中から抜け出せない状況やその理由が良く分かりました。

また、シミュレーションの結果から、何もしないと2050年までには財政破綻が見えてくるとの分析が示されました。巨額の課税やそれと同等のインフレなどが起きて経済が大混乱することです。私たちの生活はどうなるのでしょうか？

財政再建には、やはり税がキーで、例えば消費税UP（30%課税!）が必要だと言う経済学者の試算もあるそうです。国民は消費税に否定的で、とてもすぐには手を付けられないですが、将来不安を解消・成長率向上のため、日本の持続性を国民にコミットしていく組織として、アメリカのCBOやイギリスのOBRのような独立財政機関、また社会保障制度改革を検討する組織の必要性についてお話がありました。

最後に、フューチャーデザインについてお話がありました。このままでいい→成長しない→いつか破綻する、ということに目を背けず、意思決定をする際には、仮想未来人になり、将来の世代に承認、感謝されることかどうかが大事な価値観であることと認識すべきと感じました。聴講者からもぜひ実践したいとの声が上がっていました。

小林先生、ありがとうございました

大人の学びなおし第6クール 第3回「経済」アンケート

受講者の声

日本経済の課題を大変分かり易く説明していただき、勉強になりました
とても分かりやすかった

過剰債務と景気悪化の関係がよくわかりました

率直なお話に感激しました、ご提案内容もわかりやすく同意できます

消費税の認識が変わりました、将来の世代を考える事をしたいと思います

経済学は自分がこれまで避けていたが、分かりやすく、特にフューチャーデザインのお話が面白く興味深かったです

フューチャーデザインに関して、今後の自身の気づきを起こさせる考え方になると感じました

国の財務状況について議論が二極化されており、双方の意見を聞くということは大切なことと思いました

自身の既成概念が変わった

話が難しくて分かりにくいところがあった。でも、仮想未来人になろうと思います